

NUBIC 知的財産情報開示

開示日：2020年11月24日

各 位

NUBIC 知的財産情報の要約を公開いたします。

技術移転等を御希望の場合は、ホームページの「[NUBIC 技術シーズ案件申込](#)」フォームからお申込みください。各担当コーディネーターから御連絡申し上げます。

「NUBIC 技術シーズ案件申込」フォーム：

[TOP](#)> [共同・受託研究](#)> [申込書／契約書](#)> [本学研究シーズの利活用の申込み](#)> [WEB](#) から

出願番号 整理番号 担当者

| | | | |
|----------|--|--------|--|
| 表題 | ピロールイミダゾールポリアミド、TGF- β 遺伝子発現抑制剤、及び医薬組成物 | | |
| 発明の概要・応用 | <p>【課題】ピロールイミダゾールポリアミド（以下、「PIポリアミド」ともいう）は、2本鎖DNAのマイナーグループに塩基配列特異的に強力に水素結合する。標的遺伝子のプロモーターの転写因子結合部位に結合するようにPIポリアミドを設計することにより、標的遺伝子の転写を抑制することができる。また、PIポリアミドにアルキル化剤を結合することにより、塩基配列特異的に標的遺伝子発現を抑制することができる。PIポリアミドは、ドラッグデリバリーシステムを用いることなく、生体内に分布して細胞に取り込まれ、核に結合し得る点で、通常の核酸医薬などのDNA認識化合物に対して優位性があり、様々な遺伝子をターゲットとして自由に分子設計できるため、PIポリアミドを用いた多くの創薬研究が行われてきた。</p> <p>従来のPIポリアミドは、特定の1種の遺伝子のプロモーターを標的として設計されていた。したがって、従来のPIポリアミドは、1種の遺伝子の転写を制御することしかできなかった。しかしながら、標的遺伝子と、前記標的遺伝子の転写制御因子との両方の転写を同時に制御することができれば、より強力に標的遺伝子の転写を制御することができる。</p> <p>【解決手段】</p> <p>標的遺伝子の転写と、前記標的遺伝子の転写制御因子の転写とを同時に制御可能な、新規ピロールポリアミドを提供することを目的とする。また、TGF-β 関連疾患の治療薬として有用な、HGFの発現を増加しTGF-β の発現を抑制する強力な線維化抑制作用を有するピロールイミダゾールポリアミド、並びに前記ピロールイミダゾールポリアミドを用いたTGF-β 遺伝子発現抑制剤、及びTGF-β 関連線維性疾患を治療するための医薬組成物を提供することを目的とする。</p> | | |
| 発明の特徴・効果 | TGF- β 関連疾患（線維性疾患、各種腎疾患、及び男性型前頭部脱毛など）を治療するための医薬組成物 | | |
| 技術分野 | 化学・薬品 | 食品・バイオ | |



【問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp